

各種相談のご案内

■ 田辺市・橋本市での出張相談について（要予約・無料）

和歌山県 NPO サポートセンターまでお越しいただくのが困難なみなさまのために、以下の 2 か所で出張相談を行なっております。
事前にご予約下さい。なお、1 件あたりの相談時間は 1 時間までとさせていただきます。

田辺市市民活動センター

■相談日：原則毎月第 2 金曜日の 10 時半～ 17 時
■場 所：田辺市民総合センター 2F
■相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
■対 象：田辺市を中心に紀南で活動中、または活動しようとする団体

橋本市市民活動サポートセンター

■相談日：原則毎月第 2・4 水曜日の 10 時～ 16 時
■場 所：橋本市保健福祉センター 2F
■相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX 0736-33-0095
■対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

■「Web 会議」による相談受付が可能です（要予約・無料）

和歌山県 NPO サポートセンターでは「Web 会議」による NPO 相談の受付を実施しています。パソコンの画面を共有しながらご案内することもできます。利用を希望される場合は、電話または電子メールで相談したいテーマ・希望する日程をご連絡ください。
条件が合えば即日ご相談を承ることも可能です。

サポートセンターからのお知らせ

【NPO 基礎講座「事業年度末の実務編」】

NPO 法人が事業年度末に必要な実務をおさらいし、年度末の到達に備えましょう。
日 時／3 月 21 日（土）14:00～15:30
場 所／和歌山ビッグ愛 9 階会議室 B
参加費／300 円 定 員／20 名
参加ご希望の方は和歌山県 NPO サポートセンターにお申し込みください。

【印刷機に「高白色紙」が登場！封筒用紙も新しくなります】

NPO サポートセンターの印刷機でご利用いただける用紙に、ご利用のみなさまからのご要望にお応えし **4 月 1 日ご利用分より、「高白色紙」を新設する予定です。**従来の再生紙よりも白色度が高く、裏写りがしにくい用紙です。もちろん環境に配慮した「グリーン購入法適合品」です。
A4・A3 サイズのみの設定で、1 枚あたりの単価は用紙代込みで、
A4 判モノクロ 3 円・カラー 4 円
A3 判モノクロ 4 円・カラー 8 円
…と、白再生紙より 1～2 円高くなります。なお、従来の白再生紙、カラー用紙も引き続きご用意しています。
また印刷機での紙詰まりが多発し、ご迷惑をおかけ

していた**封筒用紙を全面的に刷新する予定です。**1 枚あたりの単価は用紙代込みで、
角 2 封筒 モノクロ 8 円、カラー 10 円
角 3 封筒 モノクロ 7 円、カラー 9 円
長 3 封筒 モノクロ 4 円、カラー 5 円
…と、紙詰まりを抑制するために紙質を向上したため、従来より一律 2 円高くなります。ご了承ください。
なお、サポートセンターの印刷機で直接封筒に宛先印刷をすることもできます。タックシール等が不要になり、省力化・コスト削減につながることが期待できます。Microsoft Word の「差し込み印刷」機能を使って原稿を作成します。ぜひご検討ください。具体的な方法はこちらのブログ記事をご覧ください。
<https://blog.canpan.info/wnc/archive/4633>

【サポートセンター来館者数、累計 20 万人突破！】

和歌山県 NPO サポートセンターは 2002 年 7 月に和歌山ビッグ愛 6 階に開館し、2009 年 10 月に 9 階に移転。ここ最近では毎年 14,000～15,000 人の方にご利用いただいておりますが、今年 1 月 26 日に累計来館者 20 万人を突破しました。
今後とも、NPO サポートセンターのご利用をスタッフ一同心よりお待ち申し上げます。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）
TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425
メール：info@wakayama-npo.jp URL：https://www.wakayama-npo.jp/
受付時間：火曜日～土曜日 9:00～20:50（21:00 閉館）
日曜日 9:00～17:30
休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）
【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 県民局 県民生活課 県民活動団体室（和歌山県庁本館 2F）
TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771
メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

【本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しております】

かけがえのない「地域の居場所」を目指す

大阪・奈良との府県境、和歌山県の「はしっこ」にある橋本市。市街地から少し離れた自然豊かな場所に建つ古民家に、地域の子どもから高齢者まで集える「（一社）はしっ子えがおサポート（愛称：ぼれぼれ）」があります。理事長の佐藤昌吾さんにお話をうかがいました。

全ては「ほっとけない」からはじまった

佐藤さんは長年教員を務め、その後、行政職員として仕事をしていました。在職中「子どもの支援」「地域の居場所づくり」など地域で起こる様々な「ほっとけない」社会課題の解決に取り組んだそうです。
行政の立場として、地域の方々に何かをするのを求めるだけでなく、自らがこれらの「ほっとけない」課題を解決することが必要と考え、行政を退職。有志をつのり、この団体を設立する事にしたといいます。

社会が抱える様々な課題の解決に挑む

ぼれぼれでは、「小学生対象の学習支援」「子ども食堂」「地域の方が集うランチやカフェ」、こども食堂の食材などに充てる「フードバンク活動」など様々な事業を展開しています。
設立から 10 ヶ月が経過し、施設の利用者は増え続け、地域

に定着してきています。

「独居老人の孤独の問題、貧困問題につながる教育格差、不登校の増加等、社会が抱える課題は山積しています」と佐藤さん。



▲サマースクールでは地域の中高生なども活動に参加

子どもからお年寄りまで「ぼれぼれ」

「ぼれぼれ」とは、スワヒリ語で「ゆっくり」という意味。子どもたちには「ゆっくりあなたのペースで学びましょう」、地域のみなさんには「ゆっくりとおくつろぎください」と、そんな思いを込めて名づけられました。
団体の運営は塾講師や教員経験者、地域住民などの多くのボランティアによって支えられています。
人と人との関係が希薄になっている社会において、安心して集い、つながる地域になくしてはならない「地域の居場所」として今後も展開されることでしょう。

▼学習支援の様子

地域のみなさんが参加したカフェランチ▼



主な事業の実施日
（詳細はお問い合わせください）
●学習支援 毎週月～金曜日
●体験活動支援（サマースクール）
夏休み期間中
●子ども食堂
毎月第 2 木曜日 18 時～20 時
●地域の居場所
毎週月～木曜日 10 時～15 時

一般社団法人はしっ子えがおサポート ぼれぼれ

〒648-0066 橋本市胡麻生 207 TEL 0736-26-8454 / FAX 0736-26-8451 <http://polepole.main.jp/>

INDEX

表紙：「和になろう」一般社団法人はしっ子えがおサポート ぼれぼれ

p.1：特集 公共インフラをどう維持するか

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金・イベント等のご案内

p.3：サポートセンターからのお知らせ

特集 公共インフラをどう維持するか

今年 1 月に和歌山市で発生した、水道管の破損による「計画断水」問題。工事の結果、断水は回避されましたが水道や道路など、既存の公共インフラをどう維持していくか、わたしたちに大きな課題が突きつけられました。今後各地で同様の事態が発生しかねません。そのようなリスクをどのようにすれば知ることができるのでしょうか。

全自治体がインフラ管理計画を策定

各地の公共インフラの老朽化と人口減少の課題、それに国土強靱化を目指す国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、総務省が 2014 年に各自治体に対して「公共施設等総合管理計画（計画の名称は自治体によって異なることがあります）」の策定を要請し、自治体ごとに計画を策定しています。

各計画は自治体のウェブサイトで確認することができますが、このうち和歌山県内の自治体の計画にはどのようなことが記載されているか、いくつかピックアップします。

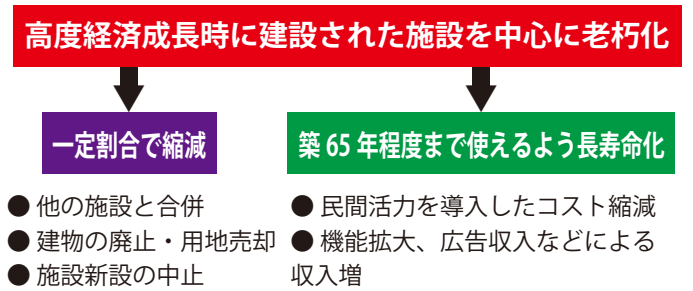
公共施設は削減が必須？！

まず、A 自治体が保有する公共建築物の維持コストの試算をご紹介します。

それによると、今後 30 年間ですべての建築物を施設数・面積ともそのまま維持する前提で、大規模改修を施しながら築 65 年まで利用できるよう長寿命化した場合、維持管理にかかる費用は 1 年あたり最大で 100 億円を超えることがわかりました。これは、計画策定の直前 5 年間に施設整備に投じた費用の年平均額をはるかに上回り、この前提は財政的にとても困難であることがわかりました。

そこで様々な試算をおこない、どうすれば財政的に持続可能な水準になるか試算した結果、① 保有する公共施設の延床面積に換算して 2 割を削減、② その削減したスペースはすべて民間に適正価格で売却する、③ 既存の施設においても多目的化、新たな収益力の高い事業の開始、命名権の売却、民営化など様々な増収・コスト削減策を講じること、が最低条件であると弾き出されました。

●公共施設等総合管理計画の主なポイント



その他 主な取り組み

- 公共インフラのさらなる長寿命化に向けた新技術等の研究
- 技術革新による的確な補修箇所の把握方法等の確立
- 計画や進捗状況の定期的な見直しによる情報の更新
- 自治体の保有する公共インフラの状況に関する情報共有、など

道路や橋梁、水道などについても試算がおこなわれていますが、いずれも法定耐用年数の通りに更新するのは財政的に難しく、優先順位の導入などによる計画的な補修・更新が必要であると結論づけています。

実は他の自治体でも

A 以外の自治体でも同様の試算結果が出ています。たとえば、① 公共建築物とインフラ資産を合わせた更新費用に対し、現在の公共建設事業予算の水準を維持したとしても年間数億円が不足する試算が出たため、既存の公共施設を徐々に削減せざるを得ない、② 今後 30 年間で公共施設の延床面積を 4 割程度縮減しなければ施設の維持ができない、③ 代替路があるなど役目を終えた古い橋などは補修をしない等の検討が必要、④ 今後、老朽による建て替えを除く公共施設の新規建設は困難、などといった具合です。

そのさなかの「計画断水」問題で、県内各地で今後このような議論が加速していくことが想定されます。実際に新年度予算で公共インフラの更新を強化する方針を示している自治体もあらわれました。

市民も公共インフラのあり方を考える時代に

人口減少が続く、特に現役世代が減少する地域では税収の減少も続くことが想定されます。福祉等に必要となる費用が増えると、公共インフラの維持・管理にかけられる費用がこの計画よりもさらに減る懸念もあります。

既存の公共インフラの更新すらままならない状況になり始めているという実態、そして更新を行う際には一定の不便が発生しうることをみなさんと共有し、必要なインフラはなにか、そしてどのように守っていくかを一緒に考えていく時代にきています。

地域に根ざした活動をおこなっている NPO・ボランティア団体のみなさんにとっても、地域の公共インフラの今後は大きな課題になりつつあります。一度、お住まいの地域の状況を確認してはいかがでしょうか。

【関連情報】
和歌山県市町村課のウェブサイト、県内市町村が公開している「公共施設等総合管理計画」のリンク集があります。
和歌山県庁→市町村課→市町村財政関係と進んでも同じページにたどり着けます。
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010600/03_zaisei/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html

新規設立 NPO 法人

◎NPO 法人ストロベリーハート（岩出市）
2020 年 1 月 20 日認証 代表者 松尾 隆代

助成金 & 公募情報

ドコモ市民活動団体助成事業

（1）子どもの健全な育成を支援する活動、（2）経済的困難を抱える子どもを支援する活動を支援します。
【助成対象】 2 年以上の活動実績がある NPO 等
【助成金額】 （1）上限 70 万円、（2）上限 100 万円
【締 切】 3 月 31（火）必着
【主 催】 NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
【備 考】 募集要項等は、同法人のウェブサイトに掲載されています（<https://www.mcfund.or.jp/>）。

NHK 厚生文化事業団「わかば基金」

地域に根ざした福祉活動を行っているグループの活動を広げる助成金です。
【助成対象・助成金額】 支援金部門：国内に福祉活動の拠点を設け、支援金でより活動を広げたいグループに、1 グループにつき最高 100 万円を助成。ほかに災害復興支援部門、リサイクルパソコン部門があります。
【締 切】 3 月 31 日（火）必着
【主 催】 NHK 厚生文化事業団（<https://www.npwo.or.jp/>）
【備 考】 募集要項等は、同事業団のウェブサイトに掲載されています。

地域福祉チャレンジ活動助成

地域包括ケアシステムの展開、深化につながる活動を支援します。
【助成対象】 助成テーマにチャレンジする意欲があり、他の団体・機関、住民組織等と協働で活動する団体
【助成金額】 2 年間で最大 400 万円
【助成期間】 2020 年 10 月から 2 年間
【締 切】 5 月 31 日（日）消印有効
【主 催】 公益財団法人日本生命財団（<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>）
【備 考】 募集要項等は、同財団のウェブサイトに掲載されています。

イベント情報

プラスチック削減戦略セミナー in 和歌山

海洋プラスチックごみ等のプラスチック資源循環の戦略を考えます。
【日 時】 3 月 18 日（水）13:30 ～ 16:30
【場 所】 和歌山県自治会館 2 階大会議室（和歌山市茶屋ノ丁 2-1）
【内 容】 和歌山県におけるプラスチックごみ削減対策の説明、海岸漂着物の課題、プラスチック資源循環の基礎知識など

※ このコーナーでは、前号発行以降に新たに設立認証された NPO 法人をご紹介します。

【参加費】 無料（事前申し込み必要）
【定 員】 150 名
【共 催】 和歌山県／3R 活動推進フォーラム（問合せは、3R 活動推進フォーラム 03-6908-7311）

能楽の調べ春祭り

プロの能楽師による舞囃子コンサートです。
【日 程】 4 月 3 日（金）14:00 ～（13:30 開場）
【場 所】 野上八幡神社（海草郡紀美野町小畑 625）
【参加費】 一般 2,000 円（当日 2,500 円）、中高生 1,000 円
【主 催】 野上八幡宮 能楽の調べ実行委員会（電話・FAX 073-489-4492、メール nokami8nohgaku@gmail.com）
【備 考】 前売券は電話・FAX・メールで受付中。

2020 年度いのちの電話相談員養成講座募集

和歌山いのちの電話協会にて電話相談員として活動していただけの方を募集します。
【日 時】 前期 5 月 16 日～9 月 5 日、後期 10 月 3 日～11 月 14 日、実習 2021 年 1 月～3 月、原則月 2 回土曜日の 13:30 ～ 16:30 の開催
【場 所】 和歌山市中央コミュニティセンター（変更になる可能性あり）
【参加費】 申込時 3,000 円、前期 20,000 円、後期 5,000 円、研修代 8,000 円
【定 員】 30 名
【締 切】 5 月 8 日（金）
【主 催】 社会福祉法人和歌山いのちの電話協会（<https://www.w-inochi.com/>）

【お知らせ】

この情報紙や、メールマガジン、「わかやま NPO 広場」の情報ブログにてご紹介している各種イベントのなかには、昨今の Covid2019（新型コロナウイルス）感染の広がりを懸念し、中止や延期となるものが始まっています。

NPO サポートセンターに中止や延期の情報が入ったものについては随時ご案内していますが、みなさまも最新情報に十分ご留意ください。

助成金やイベント情報はわかやま NPO 広場内「[情報ブログ](#)」に随時掲載しています（<https://blog.canpan.info/wnc/>）。
また毎月 1 日・15 日配信のメールマガジンでは、ブログに掲載された各種情報のヘッドラインをコンパクトにお届けします。配信をご希望の方は配信先アドレスをお知らせください（info@wakayama-npo.jp）。
スマートフォン・携帯電話等で受信される場合は、「npo_tsu_remote_mail@googlegroups.com」が受信できるようメールの設定をお願いいたします。